



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月5日

上場会社名 ヨシロ化学工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5013 URL <https://www.yushiro.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有坂 昌規

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部 財務部長 (氏名) 横井 宏紀

TEL 03-3750-6793

四半期報告書提出予定日 2022年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	10,236	15.1	196	62.9	375	48.3	194	65.9
2022年3月期第1四半期	8,891	19.5	527	473.3	726	219.6	570	253.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,863百万円 (13.3%) 2022年3月期第1四半期 1,644百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	14.27	
2022年3月期第1四半期	41.96	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	53,589	35,140	61.0	2,400.61
2022年3月期	51,085	33,868	61.5	2,310.00

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 32,671百万円 2022年3月期 31,438百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		20.00		28.00	48.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,540	20.8	350	60.9	790	48.8	160	41.4	11.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	13,900,065 株	2022年3月期	13,900,065 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	290,362 株	2022年3月期	290,362 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	13,609,703 株	2022年3月期1Q	13,585,947 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算説明資料は、2022年8月10日(水)に当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、中国の主要都市でのロックダウンによるサプライチェーンの混乱や、ロシア・ウクライナ問題の長期化など、先行き不透明な状況が続きました。また日本経済においても、経済活動正常化への動きが見られるものの、足元では新型コロナウイルス感染症が再拡大しており、また、エネルギー価格や物価の上昇、急激な円安の進行など、景気の下振れリスクに注視を要する状況にあります。

このような状況下、販売面においては、主要顧客である自動車メーカーの国内外での生産回復が続いておりますが、中国のロックダウンによる部品不足や半導体不足の影響により、自動車生産台数は当初計画より低い水準で推移しております。利益面においては、昨年同期からの原材料価格や物流費の高騰が継続しており、価格転嫁をはじめ、原価低減や経費節減による利益改善を進めていますが、依然として厳しい事業環境が継続しております。

以上の結果、売上高は前年同期比15.1%増の10,236百万円となりましたが、営業利益は前年同期比62.9%減の196百万円、経常利益は前年同期比48.3%減の375百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比65.9%減の194百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①セグメント別売上高

		前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		3,964	44.6	4,031	39.4	66	1.7
海外	南北アメリカ	2,703	30.4	3,650	35.7	947	35.1
	中国	1,111	12.5	1,251	12.2	139	12.5
	東南アジア/インド	1,112	12.5	1,303	12.7	191	17.2
	海外合計	4,927	55.4	6,204	60.6	1,277	25.9
日本+海外合計		8,891	100.0	10,236	100.0	1,344	15.1

②セグメント別営業利益又は損失(△)

		前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		62	9.9	△99	—	△162	—
海外	南北アメリカ	285	44.9	244	—	△41	△14.5
	中国	113	17.9	47	—	△66	△58.5
	東南アジア/インド	173	27.3	107	—	△66	△38.3
	海外合計	573	90.1	398	—	△174	△30.4
日本+海外合計 (調整額除く)		635	100.0	299	—	△336	△52.9

③セグメント別概況

(日本)

販売価格の改定等により増収となりましたが、それ以上に原材料価格の高騰の影響が大きく営業損失となりました。

(南北アメリカ)

クオリケムInc. 及びブラジルでの販売が好調で増収となりましたが、一部拠点において顧客の稼働率が上がり減益となりました。

(中国)

自動車生産台数は堅調に推移し増収となりましたが、原材料価格の高騰等により売上原価率が上昇しており減益となりました。

(東南アジア/インド)

各拠点において顧客の稼働率は回復基調にあり増収となりましたが、原料価格上昇分の価格転嫁の進捗にバラツキがあるため全体として減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、53,589百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,504百万円増加しました。主な要因として、「現金及び預金」が302百万円減少したものの、「原材料及び貯蔵品」が870百万円、「受取手形及び売掛金」が609百万円、「商品及び製品」が528百万円増加したことによります。

負債は、18,449百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,232百万円増加しました。主な要因として、「賞与引当金」が168百万円減少したものの、「支払手形及び買掛金」が1,027百万円、「短期借入金」が379百万円増加したことによります。

純資産は、35,140百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,272百万円増加しました。主な要因として、「利益剰余金」が186百万円減少したものの、「為替換算調整勘定」が1,605百万円変動したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日付当社「決算短信」で未定としておりました2023年3月期の連結業績予想を算定いたしました。当該予想に関する詳細は、本日(2022年8月5日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,256	6,954
受取手形及び売掛金	7,868	8,477
商品及び製品	2,071	2,599
原材料及び貯蔵品	3,751	4,622
その他	860	1,007
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	21,795	23,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,312	4,458
機械装置及び運搬具（純額）	1,381	1,407
工具、器具及び備品（純額）	367	372
土地	5,124	5,149
リース資産（純額）	82	77
建設仮勘定	25	38
有形固定資産合計	11,293	11,503
無形固定資産		
のれん	1,885	1,953
顧客関連資産	1,839	1,927
技術資産	580	604
商標権	509	530
その他	511	537
無形固定資産合計	5,325	5,554
投資その他の資産		
投資有価証券	11,002	11,116
保険積立金	683	734
長期預金	17	29
退職給付に係る資産	304	304
繰延税金資産	75	82
その他	599	629
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	12,670	12,883
固定資産合計	29,289	29,941
資産合計	51,085	53,589

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,519	5,546
短期借入金	3,052	3,432
リース債務	28	31
未払金	1,014	1,050
未払法人税等	172	208
賞与引当金	366	197
役員賞与引当金	9	4
その他	1,384	1,552
流動負債合計	10,546	12,023
固定負債		
長期借入金	3,154	3,111
リース債務	60	51
繰延税金負債	1,854	1,826
役員退職慰労引当金	171	72
退職給付に係る負債	1,224	1,159
長期預り保証金	184	184
資産除去債務	20	20
固定負債合計	6,670	6,425
負債合計	17,216	18,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	3,991	3,931
利益剰余金	24,522	24,335
自己株式	△384	△384
株主資本合計	32,378	32,132
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,516	1,385
為替換算調整勘定	△2,334	△728
退職給付に係る調整累計額	△122	△117
その他の包括利益累計額合計	△940	539
非支配株主持分	2,429	2,468
純資産合計	33,868	35,140
負債純資産合計	51,085	53,589

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	8,891	10,236
売上原価	6,084	7,615
売上総利益	2,807	2,621
販売費及び一般管理費	2,279	2,425
営業利益	527	196
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	46	58
為替差益	0	65
持分法による投資利益	133	33
その他	23	47
営業外収益合計	213	212
営業外費用		
支払利息	13	12
その他	1	20
営業外費用合計	14	33
経常利益	726	375
特別利益		
固定資産売却益	56	—
関係会社出資金清算益	22	—
特別利益合計	79	—
税金等調整前四半期純利益	805	375
法人税等	165	147
四半期純利益	639	228
非支配株主に帰属する四半期純利益	69	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	570	194

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	639	228
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	△130
為替換算調整勘定	950	1,459
退職給付に係る調整額	3	5
持分法適用会社に対する持分相当額	161	300
その他の包括利益合計	1,004	1,635
四半期包括利益	1,644	1,863
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,448	1,674
非支配株主に係る四半期包括利益	196	189

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに用いた主要な仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
金属加工油剤関連事業	3,510	2,703	1,111	1,112	8,437	—	8,437
ビルメンテナンス 関連事業	454	—	—	—	454	—	454
顧客との契約から 生じる収益	3,964	2,703	1,111	1,112	8,891	—	8,891
外部顧客への売上高	3,964	2,703	1,111	1,112	8,891	—	8,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	202	5	—	23	231	△231	—
計	4,167	2,708	1,111	1,135	9,122	△231	8,891
セグメント利益	62	285	113	173	635	△108	527

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア/インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額△108百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が△15百万円、クオレケムInc.買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△92百万円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア /インド	合計		
売上高							
金属加工油剤関連事業	3,585	3,650	1,251	1,303	9,790	—	9,790
ビルメンテナンス 関連事業	446	—	—	—	446	—	446
顧客との契約から 生じる収益	4,031	3,650	1,251	1,303	10,236	—	10,236
外部顧客への売上高	4,031	3,650	1,251	1,303	10,236	—	10,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	280	5	—	5	290	△290	—
計	4,311	3,656	1,251	1,308	10,527	△290	10,236
セグメント利益又は 損失(△)	△99	244	47	107	299	△103	196

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東 南 ア ジ ア / イ ン ド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額△103百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が△2百万円、クオリケムInc.買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△101百万円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。